

參考資料

1. 審議会委員名簿、審議経過

春日部市中心市街地バリアフリー計画は、春日部市中心市街地まちづくり計画とともに「春日部市中心市街地まちづくり審議会」による審議を経て策定されました。

■ 審議会委員名簿

区分	氏名	所属等
学識経験者	久保田 尚【会長】	埼玉大学大学院教授
	木下 芳郎【副会長】	日本工業大学准教授
関係行政機関	水谷 信哉	埼玉県鉄道高架建設事務所所長
市内各種団体を 代表する者	時田 美野吉	春日部市自治会連合会会長
	並木 素生	粕壁地区自治会連合会会長
	鈴木 浩子	春日部市社会福祉協議会副会長
	前澤 初夫	春日部市観光協会副会長
	小川 一博	春日部駅東口商店会連合会会長
	山崎 正雄	春日部西口商店会連合会会長
	山崎 哲男	春日部商工会議所会頭
	千葉 竜哉	匠大塚株式会社 春日部本店次長
	藤田 如億	埼玉りそな銀行 春日部支店支店長
	恩田 貴子	三井不動産商業マネジメント株式会社 ララガーデン春日部所長
	渡辺 隆史	東武鉄道 株式会社 経営企画本部部長
	鶴岡 洋	一般社団法人 埼玉県バス協会専務理事
海老原 秀典	春日部市市管理構内タクシー協議会会長	
公募に応じた市民	島田 さえり	

■ 春日部市中心市街地まちづくり審議会での審議の様子



■ 審議経過

回	開催年月日	主な議題・出席者
第1回	2019年（令和元年） 6月28日	【主な議題】 ○春日部市中心市街地まちづくり審議会の進め方について ○春日部市中心市街地まちづくりの目指す方向性について 【出席者】 委員15名、オブザーバー4名、事務局8名
第2回	2019年（令和元年） 8月5日	【主な議題】 ○春日部市中心市街地まちづくりの将来像について 【出席者】 委員12名、オブザーバー3名、事務局16名
第3回	2019年（令和元年） 10月18日	【主な議題】 ○春日部市中心市街地まちづくりの将来像実現化に向けた取組について 【出席者】 委員16名、オブザーバー13名、事務局16名
第4回	2019年（令和元年） 12月20日	【主な議題】 ○交通体系及び駅前広場について ○ゾーン別の施策展開について ○中心市街地バリアフリー計画について ○とりまとめについて 【出席者】 委員12名、オブザーバー12名、事務局16名
第5回	2020年（令和2年） 3月27日	【主な議題】 ○既存まちづくり計画と審議した個別施策との整理について ○中心市街地バリアフリー計画策定の進め方、取組内容について ○中心市街地まちづくりの今後の進め方 【出席者】 委員10名、オブザーバー1名、事務局10名
第6回	2020年（令和2年） 7月20日	【主な議題】 ○中心市街地まちづくり計画（素案） ○中心市街地バリアフリー計画（素案） 【出席者】 委員15名、オブザーバー7名、事務局12名

2. 用語解説

■用語解説

用語	解説
EVバス	電気バスのことで、電気のみを動力として走る次世代公共交通。
オストメイト（トイレ）	臓器に機能障害を負い、腹部に人工的に排泄のための開口部を造設した方が利用するためのトイレ。
グレーチング	道路側溝の蓋などに用いられる網目状の土木資材。
コミュニティバス	地域の住民の利便向上等のため一定地域内を運行し、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置等を工夫したバス。
重点整備地区	重点的かつ一体的なバリアフリー化を図るための事業を実施する必要がある地区。
スパイラルアップ	具体的な施策や措置内容について、施策に関係する当事者の参加の下、検証し、その結果に基づいて新たな施策や措置を講ずることにより段階的・継続的な発展を図っていくこと。
生活関連経路	生活関連施設相互を結ぶ道路、駅前広場や建物内及び敷地内の通路。
生活関連施設	不特定多数の人や高齢者、障がい者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設。
多目的トイレ	車椅子の方をはじめとして、高齢者や于供づれの方など誰もが利用できるトイレ。
特定事業	公共交通を運営する公共交通事業者、道路を管理する道路管理者、交通安全対策を実施する公安委員会等が、基本構想に基づきバリアフリー化のために実施する事業。
ノンステップバス	客室の床面を低く作り、入り口の段差を小さくして乗降しやすくしたバス。
バリアフリー	高齢者、障がい者等が社会生活をしていく上で、物理的・社会的・制度的・心理的な障壁、情報面での障壁（バリア）となるものを取り除き、生活しやすくすること。
バリアフリー基本構想	バリアフリー法に基づいて、高齢者や障がい者、妊産婦、けが人などの移動や施設利用の利便性、安全性の向上を促進するため、移動円滑化に係る事業の重点的かつ一体的な推進に関する基本的な構想を市町村が策定するもの。
誘導ブロック	視覚障がい者を安全に誘導するために床面、路面等に敷設されている、点状または線状の突起をもったブロック。
ワークショップ	バリアフリー化を行うにあたり、行政のみの判断で計画するのではなく、市民や事業者など地域に関わる人々と一緒に計画を作り上げていく手法で、参加者が共通して理解できるような勉強会や共同作業を行いながらバリアフリーに関する知識を深め、さまざまな意見のもと協働によりバリアフリー化を図ることを目的としている。

春日部市中心市街地バリアフリー計画

発行 春日部市

〒344-8577 春日部市中央六丁目2番地

TEL 048-736-1111

URL <https://www.city.kasukabe.lg.jp/>

編集 都市整備部鉄道高架整備課

作成 2021年（令和3年）3月

市制施行 15 周年を記念して、
「住んで良かった」と思えるまちを実現させるため、
市民憲章を制定しました。

春日部市民憲章とは、
春日部市のより良い理想の姿を掲げ、
それを市民全員で実現するための道しるべとなるものです。

春日部市民憲章

わたしたちのまち春日部は 古利根川と江戸川が流れ
豊かな自然のなかで 伝統 文化 産業を育んできた歴史のあるまちです

わたしたちは この先の時代に想いを馳せ
だれもが住み良い 魅力あるまちを目指して
ここに 市民憲章を定めます

- 環境にやさしく かけがえのない自然を守りましょう
- 心と体を健やかに 良識ある行動を心がけましょう
- お互いを尊重し ともに助け合い 心かよう信頼を築きましょう
- 伝統と文化を大切にし 次の世代に引き継ぎましょう
- 広い視野で世界に学び 平和で夢のある未来をつくりましょう

そして
このまちで
ともに生きましょう



KASUKABE

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

グリーン購入法に適合した用紙を使用しています